

評価項目	学習指導
------	------

重点目標	全教科で共通する指導法を研究し、1時間1時間の授業で確実に力を付ける。	P
現 状	前年度の県学習状況調査では、全学年・全教科で県平均を上回ることができた。しかし、郡市一斉算数テストでは、3つの学年が郡市平均を下回った。学年間で差が出た。	
具体的な目標	学年の指導による差が出ないように、全員で研究の共通実践事項を共通理解し、どの学年でも確実に実践する指導体制を確立する。昨年同様、県学習状況調査でどの学年も県平均を上回ることを目指す。	
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○【共通実践事項1】「つながる場」の充実。 ・自分で解決した後「つながる」時間を設定し、考えを出し合って自分の考えを広げたり深めたりする。</li> <li>○【共通実践事項2】「確かめる場」の充実 ・1時間の中でめあてができたかどうか確実に評価し、評価結果を個の指導に生かす。（1時間の授業で確実に1つ力を付ける）</li> <li>○【共通実践事項3】「いかす場」の充実 ・1時間で身に付けた力が、同じ教科や他の教科、そして普段の生活等様々な場面で生かされることを意識させる。</li> <li>○授業と朝学習・放課後補充学習・家庭学習を連携させ、個の力に応じた学習方法をに付けさせ、力を付ける。</li> </ul>	
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの学年のどの教科でも、1時間の授業の中に「つながる場」「確かめる場」「いかす場」を設定して、全員が同じ方向を見て学習指導をした。</li> <li>○「その日の勉強、その日のうちに」を全校の合い言葉にし、授業でやった内容を家庭学習で振り返ることができた。担任を始め多くの教師の目で学習内容を確認し、よさを大いに褒めた。</li> </ul>	D
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習状況調査では、県平均比較で4年（96）、5年（101）、6年（97）。4年・6年は理科の指導に課題があった。</li> <li>○「家庭学習」では、漢字・計算だけの内容から、授業の内容を振り返ることが低学年からできるようになってきた。</li> <li>○学校アンケート「授業で力を付けている」（3.6）</li> </ul>	
自己評価	<p style="text-align: center;">（評価）</p> <p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>1時間1時間の授業と家庭学習とのつながりを大切にしてきた。学習状況調査では、2学年で県平均には到達しなかったが、少しの回復指導で児童は理解することができている。学習意欲は、どの学年も高い状況です。</p>	C
<p>↑ 評価基準 ↓</p> <p>A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない</p>		
学校関係者評価と意見	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>B評価でもAに近いB評価である。授業や家庭学習でよく頑張っている。担任や児童のよさをしっかり把握しながら指導を継続してほしい。学習調査の公表に際しては、児童の激励にもなり、保護者も喜ぶよう100%より少し少なくても達成していると判断してもよい。</p>	C
自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	各学力調査でよさと課題がはっきりした。授業と家庭学習のつながりを今後も大切にしていきながら、課題の部分をしっかり補充指導をしていきます。学年全体の課題とともに、一人一人の課題にもきめ細かく対応していきます。	A

評価項目	体力向上
------	------

重点目標	計画的に運動に親しむ機会を設定したり環境を整備したりして、運動に親しむ機会を多くし、喜んで運動する子どもを育てる。	P
現状	「体力合計点」：全学年県平均を上回った。しかし、2つの学年の女子が僅かに県平均に届かなかった。 昨年度の課題であった「反復横跳び」は、県平均を上回ったが、「握力」「50m走」はあと僅かだが県平均に届かなかった。	
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体力合計点」で全学年・男女とも県平均を上回る。</li> <li>「全種目」県平均を上回る。 (握力全校平均97⇒100) (50m走全校平均99⇒100)</li> </ul>	
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>業間体育を毎週火・水曜日、年間継続してマラソンを実施する。</li> <li>運動環境の整備～体育館にスクエアジャンプ・ラダー・ミニハードルの場を設定する。グラウンドでは、トラックのライン引き、サッカーゴールの設置等で意欲を引き出す。</li> <li>体育の時間や業間体育で使用できる検定表を作成する。(鉄棒・縄跳び・水泳等)</li> <li>「握力」「瞬発力」に関する運動を、準備運動に取り入れている。(新設雲梯、修理した登り綱を積極的に利用する。)</li> </ul>	
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校児童が運動できるように、児童会体育委員会が計画的に業間運動を実施した。(夏はマラソン、秋は雲梯・登り綱、冬は縄跳び)</li> <li>年度当初に体力テストを実施し、体育の準備運動等で弱点種目を強化してきた。</li> <li>長休み時間をしっかりと確保し、外や体育館でゆっくりと遊ぶことができるようにした。</li> </ul>	D
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>新体力テストの結果が2月中旬なので後日お知らせします。</li> <li>新設雲梯、改修した登り綱、鉄棒等、運動環境を整備していただいたおかげで、器具にぶら下がる機会が多くなり、課題である「握力」強化に大いに役だった。</li> <li>休み時間は広いグラウンドで走り回る児童が多く、吹雪の日でも全校児童の半数以上が外に出て遊ぶ元気がある。</li> <li>学校アンケート「運動する機会が多くなり体力を付けている」(3.6)</li> </ul>	
自己評価	<p>(評価)</p> <p><b>B</b></p> <p>業間運動の成果の場として、マラソン大会を新たに実施した。大会ではほとんどの児童が練習よりも記録を伸ばした。運動環境を整備することで、運動好きの児童が増えている。体育の時間や休み時間は、元気に動き回る児童が大変多い。</p>	C
評価基準	<p>↑</p> <p>A：具体的な活動がなされ目標を達成できた</p> <p>B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない</p> <p>↓</p> <p>C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない</p>	
学校関係者評価と意見	<p><b>B</b></p> <p>全校の新体力テストの数値はどの学年も大変よい。課題の握力に対しても、具体的な取組がされている。今後は、心のたくましさも子どもたちに身に付けさせてほしい。</p>	C
自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	運動環境も整備されているので、今後も全校児童が継続して運動できるように、体育の授業や業間運動を通して計画的に体力を向上させていきます。課題である心のたくましさについては、全教育活動を通して、「自分でできることは、自分でやる。」を意識させます。	
		A

評価項目	地域連携
------	------

重点目標	地域に元気を届ける子どもたちを育てる。		P
現状	八森中学校がなくなった今、八森にただ一つの学校として、地域と今まで以上につながり、地域に元気を届けなくてはならない。総合的な学習の時間を通して、地域とのつながりが各学年に任せている状態。（学校として地域とつながる気持ちを強くしたい）		
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で地域の人を力生かした授業を昨年より増やす。</li> <li>生活科、社会科、総合的な学習の時間で岩館・観海・八森地区にバランス良く出かける機会を多くする。</li> <li>地域の貢献する活動を、児童会運営委員会が計画・実施する。</li> <li>職員が地域を知る研修を重ねる。</li> </ul>		
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>町生涯学習課と連携して、人材リストを作成し、授業で生かしていく。</li> <li>「総合的な学習の時間・全体計画」を見直す。八森の自然体験を大いに充実させる。（地域の方々からの協力を得る）</li> <li>「八森っ子元気と笑顔を届け隊2」で岩館・観海・八森地区のバランスを考えた地区奉仕活動に取り組みさせる。</li> <li>児童会を中心に「自分たちが笑顔と元気を届ける！」という気持ちを育てていく。</li> </ul>		
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>見直しをした「総合的な学習の時間」の全体計画を基にして、各学年の地域で学ぶ学習をしっかりと実施することができた。</li> <li>実施に当たっては、町の関係団体との連携を密にして、地域の方々を巻き込んだ学習になうように計画した。</li> <li>昨年度1回であった「八森っ子元気と笑顔を届け隊」の活動を、2回計画することができた。</li> </ul>		D
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々から地域に関する内容学ぶことができ、子どもたちは視野が広がった。総合的な学習の時間以外でも、子どもたちはたくさん地域の方々とながることができた。「八森っ子元気と笑顔を届け隊」によって、子どもたちは地域に貢献する気持ちが強くなっている。</li> <li>学校アンケート「学校は地域とつながっている。」（3.4）</li> </ul>		
自己評価	(評価) A	クマの出没や荒天等で、実施できなかった内容もあった。新たに、ゲートボールとユニカールで老人クラブの方々とながることができた。子ども同士、職員同士の子ども園との連携は、本校のよさの一つにもなっている。	C
	↑ 評価基準 ↓	A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない	
学校関係者評価と意見	A	地域との連携はよくしている。総合的な学習の時間の地域学習は、八森にはたくさんあるので、学級担任が取捨選択できるように計画することも必要である。以前にあった楽しい活動を、子どもたちに体験させてあげたい。	C
自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	たくさんの方々のご協力で、子どもたちはたくさんのお話を学ぶことができました。総合的な学習の時間の全体計画を見直し、分かりやすく無理なく学習できる内容にしていきます。その中で、海に関する学習を、漁業協同組合の方々等に相談しながら開拓していきたい。		A